

赤字法人こそ生命保険は必需品！

●ウチは赤字だし、予算もないよ……



いま「うちは赤字だし、とてもそんな余裕がないんだ」という社長さんがいらっしゃいますが、生命保険の購入は、余裕があって贅沢に入るものもあれば、必要最低限は義務として用意しておかなければいけない場合もあります。

赤字のときこそ資金に余裕がなかったり、借入金がかさんだりするものです。万が一の社長の死亡時に、奥様が金融機関から借入金の返済を迫られたり、従業員の今後を考えなければならなかったり、手形の支払いを求められたりと、分かっているリスク相当額の保険を購入することは社長の義務です。

40歳の社長が、3000万円の死亡保障を5年の定期保険で購入すると、毎月の掛け金は1万円でおつりが来ます。

社長なんだから一食詰めてでも、タバコをやめてでも、この保障を購入しておく必要があります。

赤字

- 借入金の返済
- 手形債務
- 商品仕入れ代金
- 従業員への保障

<例>

40歳男性、5年定期で3000万円の保険は月1万円以下でカバーできます。

$10000円 \div 30日 = 333円/日$

- タバコをやめる
- 飲み代を節約する
- ゴールドカードは1枚にする

これは社長の責任です！

